クビナガリュウ「ホッピー」

ホッピーだより

No. 333

2012年8月1日発行

むかわ町立 穂別博物館

〒054-0211　北海道勇払郡むかわ町穂別80-6
Tel/Fax　0145-45-3141
ホームページ　http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm

恐竜について①「恐竜とは？」

はじめに　むかわ町穂別地区では、クビナガリュウ、モササウルス、ウミガメなど、白亜紀の海に生息していた爬虫類の化石が数多く発見されています。しかしこれらは恐竜ではありません。では、「恐竜」とは何でしょうか？　これから数回にわたって説明します。

「恐竜」の由来　dinosaur（恐竜）＝deinos（おそろしい：ギリシア語）＋sauros（トカゲ：ギリシア語）:「おそろしいトカゲ」という意味です。古生物学者のリチャード・オーウェン（イギリス）によって1842年に命名されました。

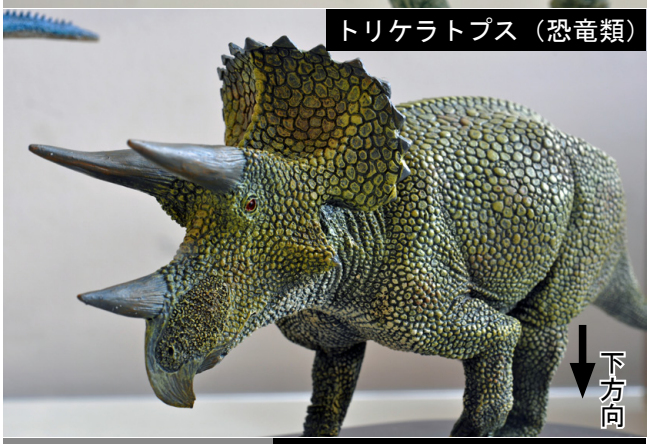
生息年代・生息場所　中生代の三畳紀（さんじょうき）後期（約2億3000万年前）ー白亜紀末期（約6550万年前）に世界各地の陸地に生息していました。最古の化石は南アメリカのアルゼンチンなどで発見されています。

大きさ　全長1m未満のものから、史上最大の陸上動物である30mを超えるものまでいました。

種類数　現在明らかとなっているのは800種ほどと言われています。

分類上の位置　脊椎動物の爬虫類に含まれます。現在も生きている爬虫類は、①ワニ類、②ヘビ・トカゲ類、③カメ類、④ムカシトカゲ類、の4グループに分けられます。これらの中で恐竜は、ワニ類に最も近いと考えられています。

特徴　足が胴体の真下に位置し直立型の姿勢を持つ、という特徴があります。この姿勢に関わる骨格上の特徴、すなわち腰や足の骨の形や関節の仕方は、他の爬虫類には見られません。一方、ワニ類やトカゲ類の足は体の横へと張り出しています（右図参照）。



恐竜類とトカゲ類の姿勢の比較
それぞれの姿勢の違いに注目。
トカゲ類（一番下）では前後の足は横方向へ張り出している（←）。
それに対し恐竜類（上の2種類）では足（特に後足）が体の真下に位置している（↓）。　（写真は全て模型）

恐竜の種類分け　恐竜は骨盤を作る骨の特徴の違いから、竜盤類（りゅうばんるい）と鳥盤類（ちょうばんるい）の2グループに分けられています。詳しくは次回説明します。

同時代の生物　中生代（三畳紀ー白亜紀）は地球上で爬虫類が繁栄した時代で、海には魚竜類、クビナガリュウ類、モササウルス類、ウミガメ類など、陸上にはワニ類やカメ類が生息し、空には翼竜類が舞っていました。これらは全て爬虫類ですが、上記の特徴を持たず、それぞれ恐竜とは別のグループに分けられています。

（学芸員　桜井和彦）

博物館収蔵資料の紹介⑤（「穂別の化石紹介」から名称変更しました）

翼竜（よくりゅう）

穂別博物館には北海道北部の遠別町で発見された翼竜の化石が収蔵されています。翼竜化石は、国内では北海道の三笠市や夕張市のほか兵庫県や熊本県、長崎県などで計 30 点ほどが報告されています。

発見の経緯　岩田正敏氏（札幌市在住・当時）によって発見され、1993 年に当館に寄贈されました。

基本情報

分類：脊椎動物門　爬虫綱　翼竜目
　　プテロダクティルス亜目
　　オルニトケイルス科　属・種不明
登録番号：HMG-1052（遠別標本）
年代：中生代白亜紀後期カンパニアン期後期
産出部位：頸椎（けいつい）（１点）
発見地：北海道　遠別町
発見者：岩田正敏
研究者：地徳力（当館学芸員・当時）

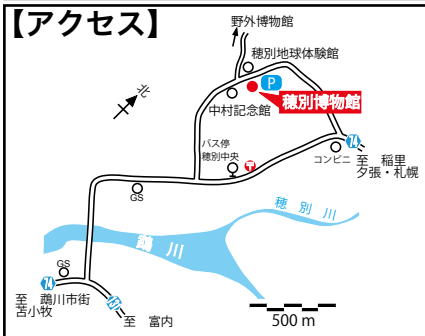
研究　脊椎（せきつい）動物の骨は二層構造となっていますが、その外側の緻密な層が非常に薄く、内部のスポンジ状の層がほとんど空洞となっています。また、前方の関節面が丸くくぼみ、前後の骨と連結するための突起（関節突起）が発達しています。これらは翼竜の脊椎骨（背骨）に見られる特徴です。さらに、背側や側面に突起が見られるものの、肋骨の付着部は見られないため、頸椎（背骨の首の部分）であるとされました。

遠別標本と同時代産のデラウエア標本（アメリカ・白亜紀後期）を比べると、形態上の特徴が一致するため、おそらく同じ種に含まれると考えられます。この２点はオルニトケイルス科のものと特徴が一致しますが、これまで明らかとなっているどの種よりもはるかに大きいという違いがあります。単一の頸椎のみである遠別標本ではこれ以上検討を進めることができず、オルニトケイルス科に含まれるが属種は不明とされました。なお、デラウエア標本との比較から翼開長（翼を広げた横幅）は約 5.8m と推定されています。これは比較的大きな翼竜、例えばプテラノドンなどと同程度の大きさです。［以上、地徳 1996（穂別町立博物館研究報告第 12 号）に基づく］

翼竜　空へ進出した爬虫類。三畳紀後期（約２億2000 万年前）から白亜紀末期（約6550 万年前）に繁栄。前足が大きな翼となり、後足は小さく、頭部は様々な形となった。　（学芸員　桜井和彦）

【会期延長のお知らせ】
好評につき、「ミニ展示　モササウルス新規資料展」は９月２３日（日）まで延長します。

【アクセス】



穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。

【利用案内】

開館時間　9：30~17：00（最終入館 16：30）

入館料	個人 / 小～高校生	100 円
	大人	300 円
	団体 / 小～高校生	50 円
	大人	200 円

※団体は 10 人以上　※小学生未満は無料

［休館日］

８月
無休です